



八重小だより 2月号

令和8年2月4日(水) 北広島町立八重小学校 校長 江崎 繁

二分の一人入式
の日の4年生教
室の黒板です。



「がんばれば、きっとできる」力を育てる

3学期が始まり、1月の後半はインフルエンザが猛威をふるいました。そのような中にもかかわらず、休憩時間には外に出て元気に遊ぶ子どもたちの姿に、たくましさを感じています。

さて、子どもたちが将来、社会に出たときのために、学校で何を身に付けておくことが大切なのかを考えます。学力でしょうか、コミュニケーション力？それとも体力でしょうか。これらはもちろん子どもたちの可能性を広げる大切な力ではありますが、それだけで ^{ウェルビーイング} well-being (幸福) が保障されるわけではありません。

今、社会のさまざまな分野で注目されているのが、「自分はがんばればできる」「やってみればきっと道は開ける」と信じて行動できる力です。これを「自己効力感」と呼びます。本校では、この力を「主体的に課題を見つけ、目標を設定し、自ら行動を決定・実行する力(自己指導能力)」とともに、子どもたちに身に付けてほしい大切な力としています。

「自己効力感」とは、簡単に言えば、「目標に向かって行動し、やり遂げる力が自分にはある」と自分で感じられている状態のことです。この感覚をもっていると、人は前向きに挑戦することができます。例えば、授業中に少し難しい問題に出会ったときの姿を思い浮かべてみます。「どうせ分からないからやめておこう」と手を止めてしまう子もいれば、「がんばったらできるかも。間違ってもいいからやってみよう」と考え、最後まで取り組む子もいます。この違いを生んでいるのが、「自己効力感」です。

また、普段の授業をはじめ、なわとびや持久走、陸上記録会など、学校生活の中には「できるようになりたい」「うまくなりたい」と思う場面がたくさんあります。友達の姿を見て、「自分には無理そうだ」とあきらめてしまうのか、「練習すれば自分もできるはずだ」と挑戦を続けるのか。その分かれ道にあるのも「自己効力感」であると言われています。

この力が育つと、子どもたちは失敗を過度に恐れなくなります。うまくいかなかったときにも、「次はこうしてみよう」「もう一度やってみよう」と考えることができます。失敗を経験として受け止め、次につなげる力が身に付いていくそうです。

では、「自己効力感」を育てるために、私たち大人にできることは何でしょうか。大切なのは、「結果よりも、その過程を見る」ことです。テストで良い点を取ったときに、「頭がいいね」と言うだけでなく、「毎日コツコツ勉強していたからだね」「あきらめずに取り組んでいた成果だね」と努力に目を向けた声掛けをすることが大切です。

また、「がんばったのに・・・」思うような結果が出なかった子に対しても、「よく努力していたね」「挑戦したことが立派だよ」と伝えることで、「次もがんばってみよう」という気持ちが生まれます。こうした積み重ねが、「自分はやればできる」という感覚を育てていきます。

これからの社会は、正解が一つではない場面がますます増えていくと言われています。その中で、子どもたちが自分に自信をもち、学校で身に付けた力を生かして前に進んでいくためには、「自己効力感」が大きな支えになります。八重小学校で育んだこの力が、子どもたちのこれからの人生を支える土台となることを願っています。



つながり、挑み、輝いた一日！～八重小文化祭（カルチャーフェス）～

1月21日（水）、今年で3年目となる「八重小文化祭（カルチャーフェス）」を開催しました。本行事は、本校の合言葉である「つながる 挑む 考動する」を実践するための、子どもたちが企画運営をし、子どもたちが主役の行事です。

当日は、「発表部門」と「作品部門」の2つの形で、子どもたち一人一人の思いや個性が輝きました。「発表部門」では、自分の得意なことや、これまでがんばってきたことを、自由エントリー制で発表しました。一輪車やダンス、歌、お笑いなど、内容はさまざまで、どの発表にもその子らしさと努力が感じられました。発表する子どもたちはもちろん、見ている子どもたちも温かい拍手や手拍子で仲間を応援し、会場全体が一体感に包まれていました。「見る人は応援団」という文化が、今年も自然な形で根付いていると感じました。一方、「作品部門」では、子どもたちが好きなことや得意なことを生かして制作した作品が会場に並びました。

今年度の目玉は「全校ダンス」です。児童会の「学年を超えてみんながつながる楽しいことをしたい！」という願いを実現すべく、12月には、広島ダンススタジオ「FLEX」のインストラクターの皆様に振付をしていただき、全校で練習を重ねてきました。全校練習は、6年生のダンスリーダーが中心となって進め、子どもたち自身の力で創り上げてきました。当日は、学年を超えて心をつなげた、迫力ある発表となりました。

本行事を通して、子どもたちには、自己効力感を高めるとともに、自分の好きなことや得意なこと、そして一人一人の個性を大切にしてほしいと願っています。八重小カルチャーフェスティバルは、これからも子どもたちの成長を支える大切な行事として育てていきます。



学年を超えて心をつなげて取り組んできた「全校ダンス」を発表しました。練習の積み重ねが実を結び、これまでで一番元気いっぱいの笑顔と動きが会場に広がりました。

企画・運営を担った児童会を中心に、6年生の頼もしいリーダーシップと、準備を支えた5年生の協力によって、大成功となりました。ありがとう5・6年生！！

【保護者の皆様からのコメント(一部です)】

- ・全校児童、先生方、みんな一丸となってダンスをする姿に見入ってしまいました！子どもたちにとって、とても良い経験になったと思います！
- ・素晴らしいダンスでした！先生方も一生懸命に踊って声を出し、子どもたちも笑顔で楽しそうに踊っていました。先生、子どもたち、ワンチームになっていて、本当に素晴らしかったです。感動しました。ありがとうございます！！
- ・ダンス、みんな元気いっぱい楽しそうでした。練習もとても楽しかったようで、子どもに見に来てほしいと言われました。
- ・初めてこのような機会があり、親としてもうれしかったです。子どもたちがイキイキしていました。6年生は卒業まであとわずか。最後まで楽しい小学校生活を送れることを願っています。
- ・ハ重小学校みんなの楽しい雰囲気と、6年生のリーダーシップ、元気さ、仲のよさが伝わってきました！
- ・全校児童さんや先生方も、とても楽しそうにダンスをしていて、見ている側もとてもパワーをいただきました。「全員で参加」できたのがよかったです。
- ・子どもたち一人一人の「得意」を発表する場は、今の学校教育では決して多くないと思います。みんなが同じ方向を向き、人前に出ることを恥ずかしく感じたり、失敗を恐れたりする中で、今日発表した子どもたちは練習を重ね、成功体験を積み、それを自信につなげることができたと思いました。
- ・家でもたくさん練習して、楽しみにしていたので来年もぜひ取り組んでもらいたい行事です。

お忙しい中、たくさんの素敵なメッセージをありがとうございました。子どもたちも職員も元気をいただきました。これからもよろしくお願いいたします。

のびやかに、力強く！～校内書初め展～

1月19日(月)より、恒例の「校内書初め展」を開催しました。2階多目的室には、子どもたちが一字一字心を込めて書き上げた作品が掲示され、会場は凛とした空気に包まれていました。どの作品からも、集中して取り組んだ様子や、文字に思いを込める姿が思い浮かびます。



1・2年生は「硬筆書初め」、3年生以上は「毛筆書初め」を行います。日頃の書写の時間には、書写指導に来ていただいている茂川先生のお手本を参考にしたり、習字教室で学んだことを生かしたりしながら、練習を重ねてきました。その成果が、のびのびとした線や、力強く堂々とした文字となって表れています。新しい年を迎え、「今年もがんばろう」という子どもたちの前向きな気持ちが、どの作品からも伝わってくる書初め展となりました。



ありがとうございます！～学校給食週間～

1月24日から始まった学校給食週間に合わせて、食育朝会を行いました。北広島町学校給食センターの松村栄養教諭さんをお招きし、給食センターでの調理や、給食後の片付けの様子についてお話をいただきました。動画や画像を通して、大量の食器や調理器具を洗浄・消毒する様子や、大きな鍋や調理器具を使って調理する様子を知り、毎日多くの方が関わり、衛生管理に細心の注意を払いながら、安全でおいしい給食を届けてくださっていることを学びました。学校では、残菜0を目指して「すっから缶」の取組も行っています。今回の学びを通して、給食に関わる方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも給食を大切に、おいしくいただきたいと思います。



未来へつながる！0歳の節目 ～二分の一人式～

1月30日（金）、ご家族の皆様にご参加いただき、4年生の「二分の一人式」を行いました。式のはじめには、この日に向けて練習をしてきた歌と呼びかけをしました。続いて、一人一人が「できるようになったこと」を語り、家族へ感謝の気持ちを込めたカードを手渡しました。そのあと、ご家族の方と一緒にフォトフレームづくりを行い、会場は終始、温かな雰囲気になっていました。



この日に向けて、4年生は式を自分たちの力でやり遂げようと「お祝いプロジェクト」にも取り組んできました。その成果が見事に表れた、子どもたちが主体の会となりました。支えてくださる方々への感謝の気持ちを胸に、これからも夢に向かって歩んでほしいと思います。

今年も八重小神社が登場！

保健室の前に、今年も恒例の「八重小神社」ができました。子どもたちは、ここで足を止めておみくじを引き、楽しんでいます。今年は、それぞれのおみくじに健康についての「一口メモ」が添えられており、元気に過ごすためのポイントが分かりやすく紹介されています。

中には、大吉が出るまで何度も引く子もあり、微笑ましい光景が見られます。八重小神社でお参りをしながら、寒い冬を元気に過ごしてほしいですね。



中国新聞・中国新聞ウェブに掲載されました！

【ヤングスポット】「マラソン大会 ねばり 1い」 2年 岡崎 春陽さん
(12月25日中国新聞掲載)

【五・七・五】「冬になり さむいさむいとふろわかす」 3年 中本 慶亮さん
(1月15日中国新聞Web版に掲載)

表彰されました！

○ 鈴木三重吉賞「作文の部」 佳作 4年 奥井 律希さん
佳作 6年 新中 絢子さん



2月 行事予定

2日(月)	児童会役員選挙
3日(火)	代表委員会
4日(水)	2年1組研究授業
5日(木)	6年百人一首大会
6日(金)	新1年生入学説明会
9日(月)	メルヘンの会(1～3年)
10日(火)	千代田中学校入学説明会(保護者迎え要) 4年生味噌づくり
12日(木)	全校朝会
13日(金)	授業参観・PTA 例会・学級懇談会・地区委員会
16日(月)	千代の日 メルヘンの会(4～6年) 縄跳び大会
19日(木)	スクールカウンセラー相談日
20日(金)	★諸費口座振替日 クラブ活動
22日(日)	八重西文化祭(5年生ソーラン出演)
26日(木)	6年薬物乱用防止教室
27日(金)	委員会



3月 主な行事予定

2日(月)	メルヘンの会(4～6年)
6日(金)	6年生を送る会 クラブ活動
8日(日)	八重中央ふれあい文化祭(5年生ソーラン出演)
9日(月)	メルヘンの会(1～3年)
12日(木)	全校朝会
17日(火)	卒業式予行練習 卒業式前日準備 5時間授業 ※14:50下校
18日(水)	卒業証書授与式 ※11:50下校
19日(木)	4時間授業 ※13:10下校 PTA 本部役員会(新旧引継ぎ会)
23日(月)	4時間授業 ※13:10下校
24日(火)	4時間授業 ※13:10下校
25日(水)	修了式・離任式



「八重小ニュース」を随時更新しています。右記QRコードにてご覧ください。
「学校だより」もホームページに掲載しております。画像等、カラーでご覧になりたい方は、パソコン・スマートフォン等でのぞいてみてください。

